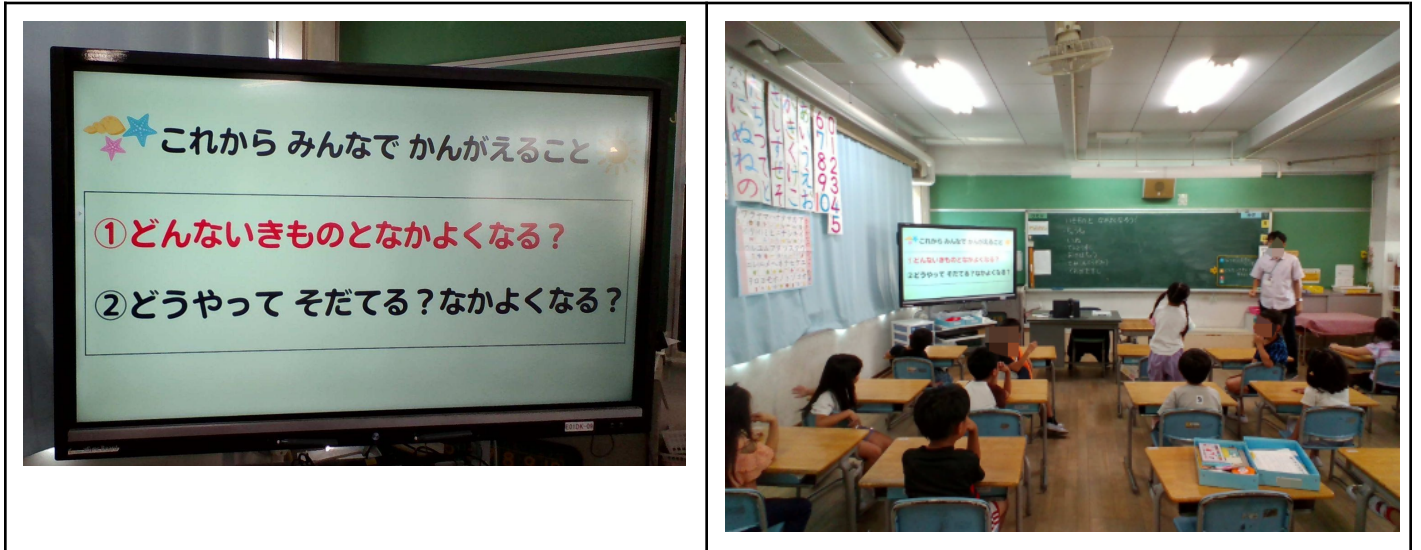


1年生 せいかつ「いきものと なかよし」

前回のいきものクイズをへて、きょうは なかみに入っていきます。

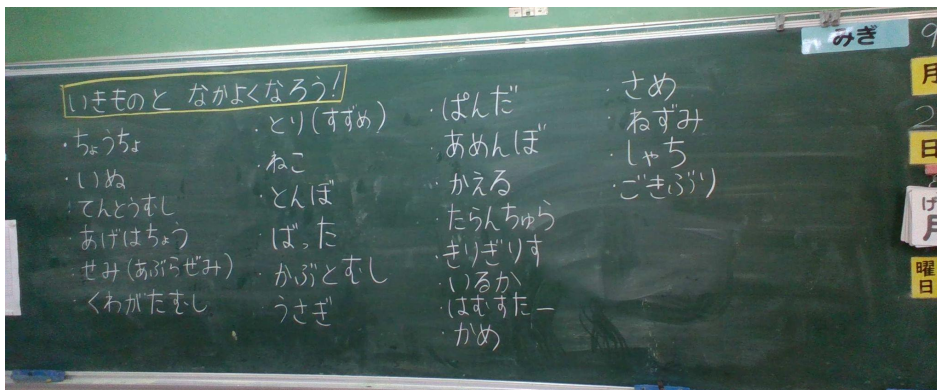
1. かだいせってい

「これから、どんないきものと なかよくなりたい？」



2. はっぴよう

「ちょうちょ」「いぬ」「てんとうむし」「あげはちょう」「せみ(あぶらぜみ)」「くわがたむし」
「とり(すずめ)」「ねこ」「とんぼ」「ぱった」「かぶとむし」「うさぎ」...



★はなしをきく＝その人のきもちをだいじにする

「○○さんが発表したあと、みんな聞くときは、ちゃんと はんのうしょう！」

「しーんってだまってきいてたら、はっぴようした人も しんぱいになっちゃうから。」

その後、発表のあとには、「いいね!」「かっこいい!」などの声上がるようになりました。

こうした「なぜ聞くか?」の話はどの学年でも大事にしたいことですね!!

3. かんがえを せいり(しぼる)

「ちょっと なかよくなるのが むずかしそうなものはどれかな?」

「さめ」「ごきぶり」...、「4人班で そうだんしてみよう!」



「ねこ」(どうして??)

「しゃち」(どうして??) 「あぶないから」

「たらんちゅら」(どうして??)「あぶないから」

「かぶとむし」(どうして??)「かぶとむしは、ツノがあるから、あぶない」

「ハムスター」(どうして??)「かむから」

ここでは、1年生の子どもたちはダメな生きものをたくさん言わなくっちゃー！と、がんばりが見られました。ただ、育てられそうにない生きものでも、何らかの理由をつけて発表している姿が見られました。ここは、「飼えない」＝「なかよくなるのはむずかしい」という「観点」がないから判断しにくいのかなと思い聞いていました

たとえば、「あぶない」という点で言うと、どういう点であぶないレベルなのか、飼い方をくふうしたらあぶなくないレベルなのか、教えるというか確認する必要があるなというところが先生側の気づきでした。

なかよくなるための「ばしょ」はどうか？ いきものの「手に入れ方」はあるか？

そだてる「おかね」はどうか？

そうした「観点」とともに、危ないからダメではなく、どうしたらなかよくなれるのかを子どもが考えることができるように「先生の子どもたちを支援する方法」として考える必要があると気づかされました。

このあと、意見をしばっていき、「なかよくなるとは、どういうことか？」「どうしたら、なかよくなれるか？」の部分も話をしていく予定です。

国語を中心にほかの教科で学習している話す・聞くの力も使いながら、楽しく学んでいる姿が印象的な1年生です。

ちなみに、今日から1年生はクロームブックを持ち帰ります。

今日学校では、「音声入力」もやってみました。

はじめの設定が個別で必要ですが、1年生でもすぐに使いこなし、次々とキーワードを入れて生き物を検索していました。

「第1問 いぬ」(みつけた——！！)

「第2問 ねこ」(見つけた人—?)

…のような感じでゲーム感覚で検索をしました。

「へび」(きゃ————！)

なんて楽しくスキルを身に付けています。

「今日、帰ったらつづきをやっていいよ！」と伝えているので、これからどんどん練習して行ってほしいです。